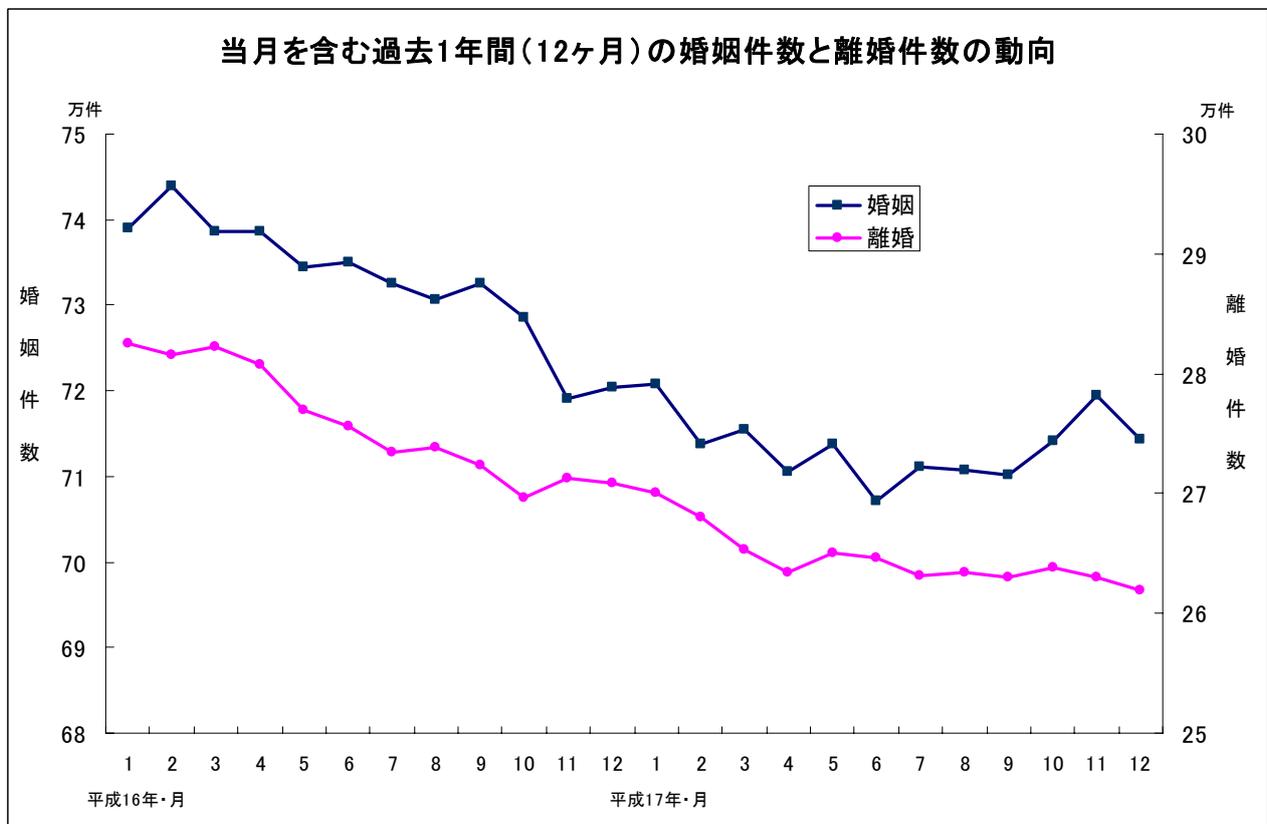
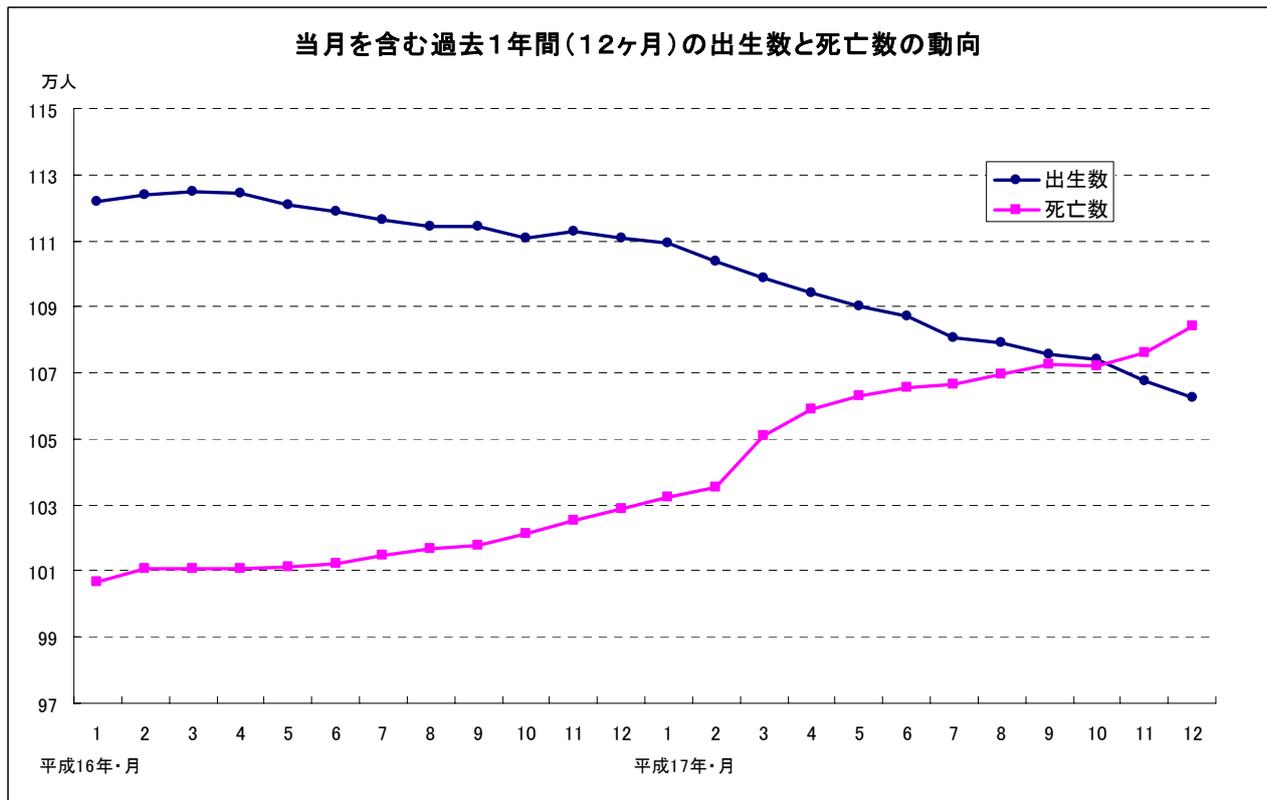


平成16年1月から平成17年12月における、出生数・死亡数
婚姻件数・離婚件数の当月を含む過去1年間(12ヶ月)の動向



注:「当月を含む過去1年間」の動向は、各月の件数と前年同月の件数の差の動向を表す。
例えば、「平成17年2月を含む過去1年間の出生数」と、「平成17年1月を含む過去1年間の出生数」の差は、平成17年2月分出生数と平成16年2月分出生数の差である。

最近の婚姻数、出生数の動向

—人口動態統計速報による—

婚姻数の推移

(当月を含む過去1年間の累計)



出生数の推移

(単位:千)

	1月	2月	3月	1~3月 累計
平成18年	93.7	85.1	93.1	271.9
平成17年	95.8	83.5	90.7	270.1
対前年同月 差	▲2.1	1.6	2.4	<u>1.9</u>

注：日本における日本人のほか、日本における外国人、外国における日本人等を含む数値である。

期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率の関係

- ①表では、各世代は5年経過するごとに5歳分年齢が上昇しているので、各世代別（コーホート）にみた出生率の年次推移（ごく粗い計算）として整理すると②表になる。

期間合計特殊出生率は、その年における異なる世代の出生率の合計であって、各世代のコーホート合計特殊出生率（実際に1人の女性が一生に生む子供の数）とは異なる。

①期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和50年 (1975)	55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	平成17年 (2005)
母の年齢	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.25
15～19歳	0.0205	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0254
20～24	0.5128	0.3855	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1788
25～29	0.9331	0.9140	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4182
30～34	0.3569	0.3529	0.4397	0.4663	0.4677	0.4620	0.4272
35～39	0.0751	0.0666	0.0846	0.1079	0.1311	0.1572	0.1754
40～44	0.0106	0.0083	0.0094	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008

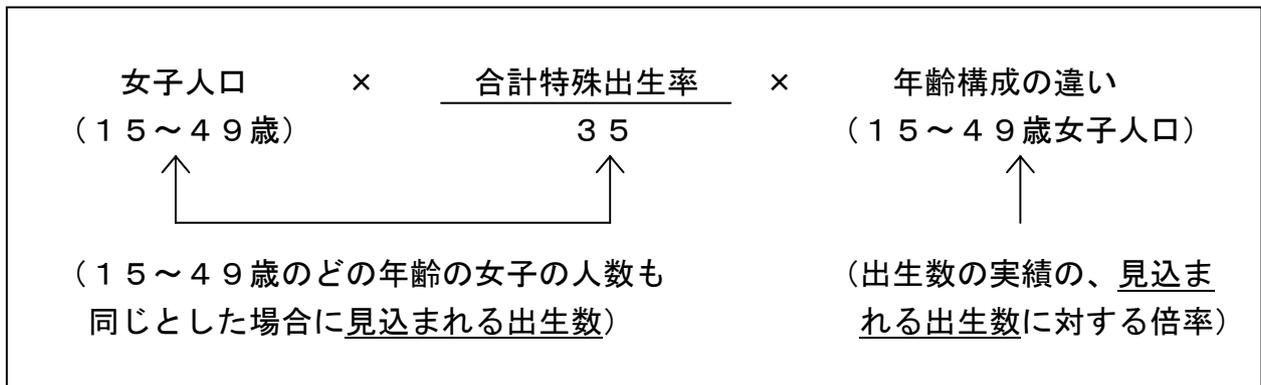
②各世代別(コーホート)にみた出生率の年次推移(ごく粗い計算)

	昭和50年 (1975)	55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	平成17年 (2005)	コーホート 合計特殊 出生率
世代(生まれ)	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.25	
昭和61年～平成2年							0.0254	0.03
昭和56年～60年						0.0269	0.1788	0.21
51～55					0.0185	0.1965	0.4182	0.63
46～50				0.0180	0.2022	0.4967	0.4272	1.14
41～45			0.0229	0.2357	0.5880	0.4620	0.1754	1.48
36～40		0.0189	0.3173	0.7031	0.4677	0.1572	0.0242	1.69
31～35	0.0205	0.3855	0.8897	0.4663	0.1311	0.0194	0.0008	1.91

期間

出生数の動向と合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素から計算されるため、その動向は、「合計特殊出生率」の動向のほか、「女子人口（15～49歳）」と「（15～49歳女子人口の）年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は別添のとおり。



(説明)

- (1) その年の女子の年齢別出生率の合計である「合計特殊出生率」は、「その年の女子人口（15～49歳）について、仮にどの年齢の女子の人数も同じとした場合の出生率」である。

このため、「女子人口（15～49歳）」に「合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

- (2) 女子の人数の合計（15～49歳の女子人口）が同じで、年齢別出生率が同じでも、実際の女子の人数は年齢により異なるので、出生数の実績は、「どの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」より多かったり、少なかったりする。

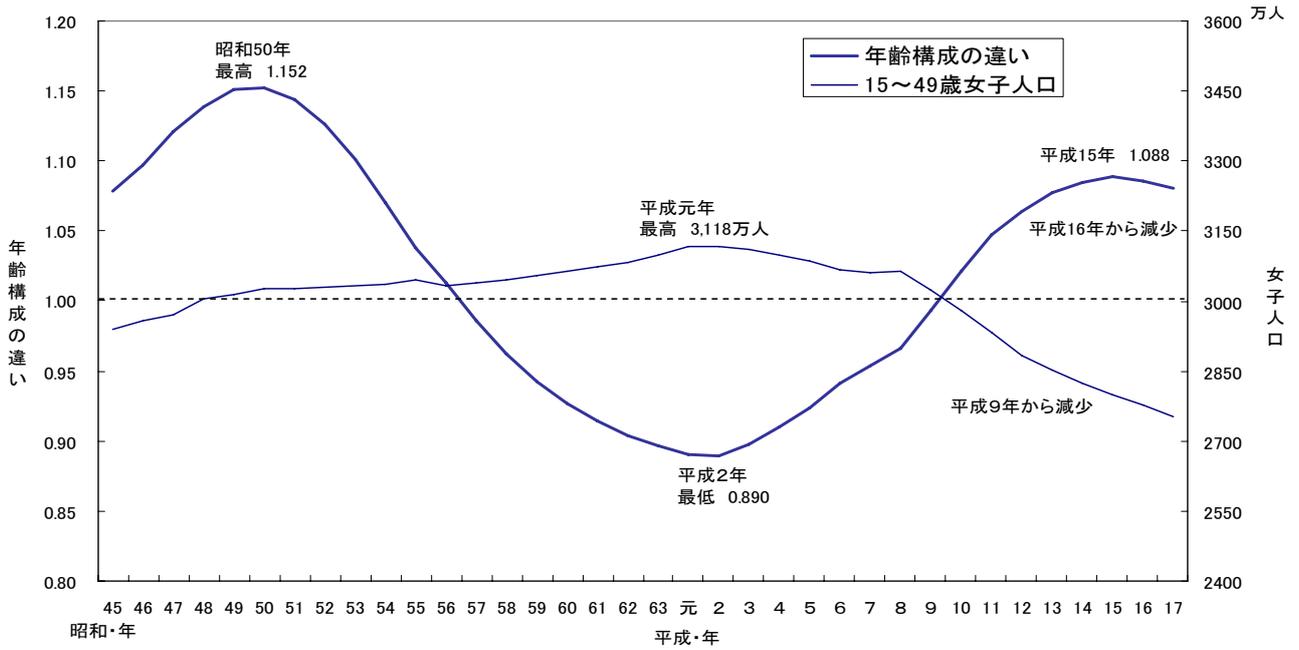
このため、出生数の実績は「見込まれる出生数」に、多かったり少なかったりする分だけ倍率を乗じたものとなる。

この倍率は「出生数の実績÷見込まれる出生数」により求められる。

- (3) この倍率は、その年の女子の人数が年齢により異なる状況（年齢構成）が、どの年齢の女子の人数も同じ状況（年齢構成）とどのくらい違うかを表すので、「年齢構成の違い（15～49歳女子人口）」とよんでいる。

概ね、出生率の高い年齢の女子の人数が他の年齢より多ければ1より大きく、少なければ1より小さくなる。

「女子人口(15~49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



(期間) 合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析

年次	実数				対前年増減率(%)			
	出生数 ①×②/35×③	15~49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15~49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 604	27 529	1.25	1.081	△ 4.3	△ 0.9	△ 3.0	△ 0.5

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年
 3) 「15~49歳女子人口」の転換年は平成9年